

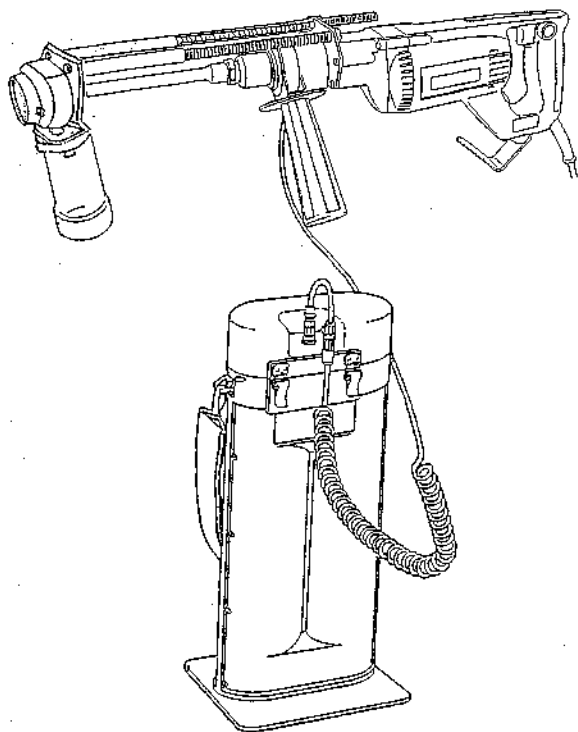
SUPER DRILL



三重無線

スーパードリル
モデル OJ-3 HP

取扱説明書



このたびはスーパードリル (OJ-3 HP) をお買い
上げいただきまことにありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分
ご理解の上で、適切なお取扱いをお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

●主要仕様

(1) . ドリル部


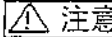

電 動 機	直巻整流子電動機
電 圧	単相 100 ボルト
電 流	6.0 アンペア
周 波 数	50-60 ヘルツ
消 費 電 力	570ワット
回 転 数	毎分 6,300
穿 孔 能 力	φ10.5～φ18.0 深さ 100mm MAX.
全 長	530mm
重 量	2.9kg


(2) . ポンベホルダ部

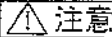
全 高	406mm
重 量	1.5Kg
使 用 ポ ン ベ	専用冷却剤ポンベ 2本装着
*専用冷却剤ポンベ (別売)		
内 容 量	800ml/本
総 重 量	約 0.8Kg/本

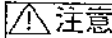
・改良のため、主要仕様および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。


注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 ・  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱をしたときに、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安 全 上 の ご 注 意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ 散らかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場所の周囲状況を考慮してください。
 - ・ 雨中や機械内部に水や油の入りやすい場所では、使用しないでください。
 - ・ ガソリン、塗料、ガスなどの引火性のある危険物の近くでは、使用しないでください。
 - ・ 作業場所は、十分に明るくし、整理整頓に心がけてください。
4. 感電に注意してください。
 - ・ ドリルを使用中は、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
 - ・ 損傷したコードは、感電の危険がありますので速やかに修理に出してください。
 - ・ 感電事故を防止するために、ゴム長靴、ゴム手袋を着用し、漏電しゃ断器の設置された電源で使用してください。
5. 子どもを近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、ドリルやコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

警 告

6. 作業に適した服装で作業してください。
 - ・機械の回転部に巻き込まれないよう袖口の開いたもの・ネクタイなどは身につけないでください。
 - ・屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑りどめのついた履き物の使用をお薦めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
7. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業中は保護めがねをご使用ください。また、作業環境により、安全靴、保安帽、マスクなどもご使用ください。
8. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
9. 作業範囲内で使用してください。
 - ・OJ-3 HPは $\phi 10.5 \sim \phi 18.0$ の範囲のダイヤモンドビットを使用してください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
10. 冷却剤に関する注意事項
 - ・タバコを吸いながらの作業は、絶対にしないでください。
 - ・ストーブやこんろなど火気の近くでは使用しないでください。
 - ・屋内で大量に使用するときは、十分に換気をしてください。
 - ・冷却剤は、火に向けて噴射しないでください。
 - ・冷却剤は、人に向かって噴射しないでください。
 - ・容器は、火中に投げ入れないでください。
 - ・容器は、完全に使いきってから他のゴミとはっきり区別して捨ててください。
 - ・容器は、直射日光をさけ風通しの良い日陰にキャップをして保管し、 40°C 以上になるような所には、長時間保管しないでください。
 - ・万一飲み込んだ場合は、水を飲ませる等の処置をし、また目に入った場合は、こすらず水道水で十分洗い流してください。
 - もし、異常を感じたときは医師に相談してください

警告

11. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
12. 作業する箇所に、電線管・水道管・ガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
13. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
14. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
15. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
16. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率良く作業するために、ドリルの能力に合った速さで作業してください。
17. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
18. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。

⚠ 警告

19. 使用中、機体の調子がわるかったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って、使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
20. 次の場合は、ドリルのスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・ボディ・ダイヤモンドビット等を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
21. スーパードリルシステムは、注意深く手入れをしてください。
 - ・使用後の機械は良く手入れをし、常に最良の状態を保ってください。
 - ・電源コード・スパイラルチューブ・継手類は、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社にお申し付けください。
22. 保管はつぎのような場所は避けて、安全に保管してください。
 - ☆お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せるところ
 - ☆湿気の多いところ
 - ☆温度の高いところ
 - ☆直射日光の当たるところ
 - ☆揮発性物質の置いてあるところ
23. 指定の付属品や部品を使用してください。
 - ・本説明書および、弊社カタログに記載されている付属品や部品以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがありますので使用しないでください。
24. OJ-3 HPは改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店または、弊社にお申し付けください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

1. 機械の組立、ボディやダイヤモンドビットの取付は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
 - ・確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、單手等巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
4. 冷却剤ポンペは、空の状態で使用しないでください。
 - ・ダイヤモンドビットが発熱し危険です。またダイヤモンドビットの寿命が著しく短くなります。
5. ドリルの空転は避けてください。
 - ・空転状態では自動切替弁内部の回転シール部分の温度が上昇し、冷却剤の流れに支障が出ます。30秒以上連続して空転させないでください。

注

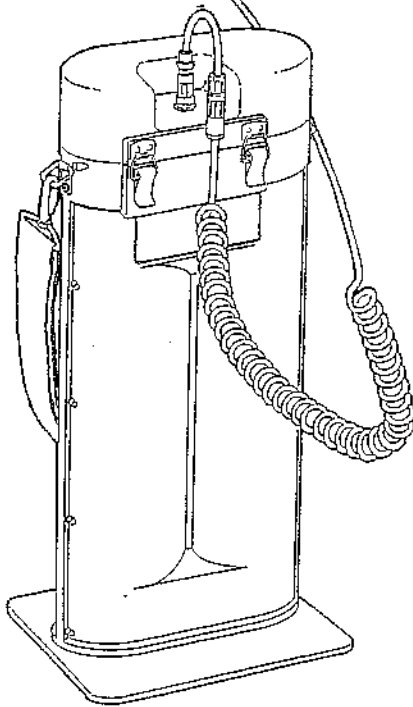
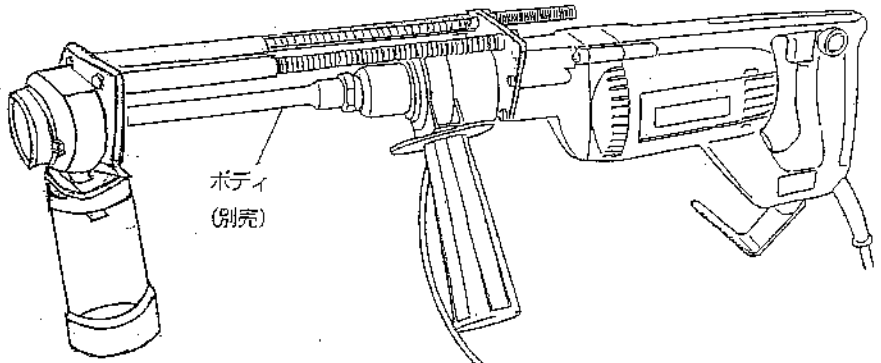
- ・電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

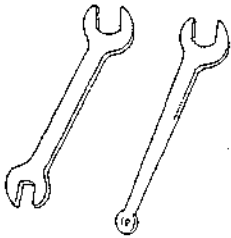
コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25 mm ²	15m
2.0 mm ²	30m

屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

組立全体図

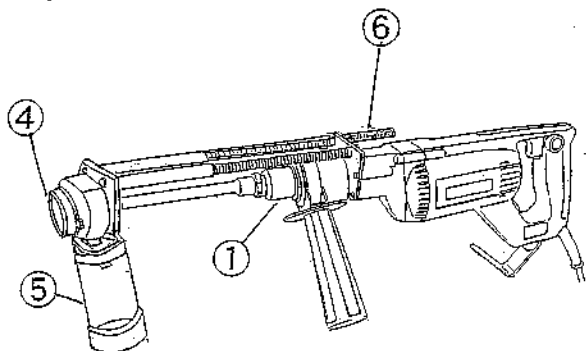


スパナ
(付属)



各部の名称

(1) ドリル部



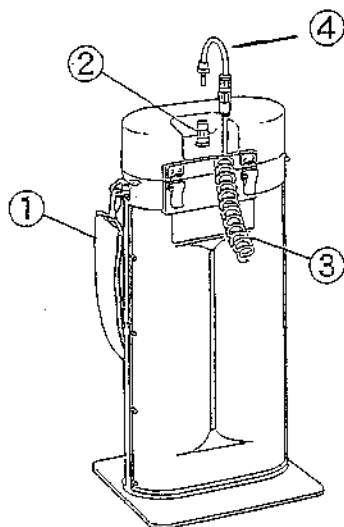
番号	部品名
①	自動切換弁 SDU-3
②	ダストホルダー
③	受け板 $\phi 10.5$
	$\phi 12.5$
	$\phi 14.5$
	$\phi 16.0$
	$\phi 18.0$
④	ダストシール
⑤	プラスチックボトル
⑥	ストッパーネジ

② ダストホルダー

③ 受け板



(2) ポンベホルダ部



番号	部品名
①	吊り紐
②	マイクロリングソケット
③	スパイラルチューブ
④	マイクロリングプラグ
③+④	スパイラルチューブ組立

組立方法

警告

ドリルの組立時、ボディやダイヤモンドビットの取付、取り外しの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

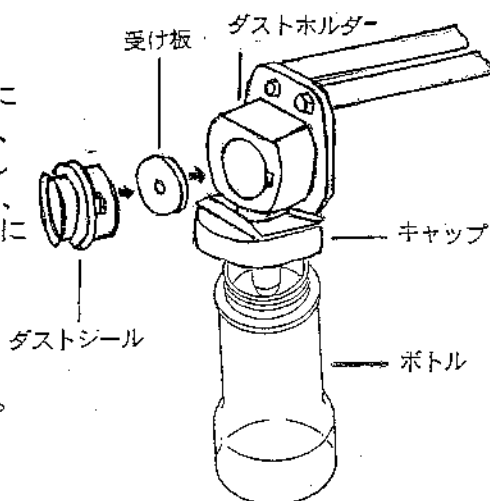
(1) 受け板の取付け

注

・受け板は、使用するダイヤモンドビットの径に対応した大きさの物をお使いください。

①

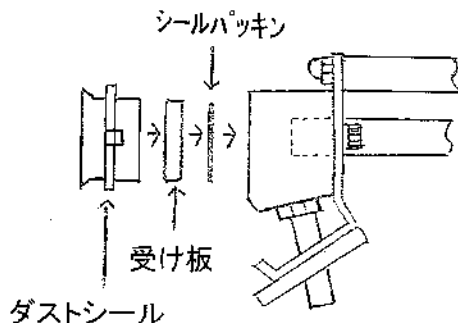
最初に、穿孔径のボディをユニットに取付け、ダストホルダーの前部より、受け板、ダストシールの順にセットして下さい。この時、受け板の中には、ボディが通っている状態です。最後にビットを取付けます。



② ボトルをキャップにねじ込みます。

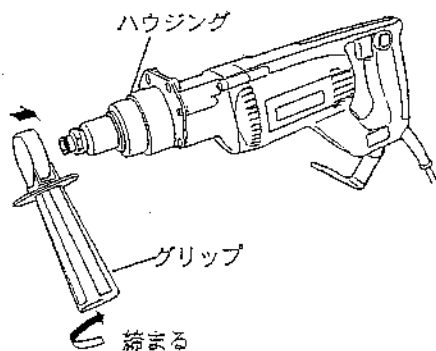
※ 天井用シールパッキンの取付位置
(液もれ防止)

天井への作業時には、受け板の後部にシールパッキンを装着して下さい。シールパッキン、受け板、ダストシールの装着順となります。サイズはφ10.5、φ12.5、φ14.5のみとなります。



(2) グリップアッセンプリの取付

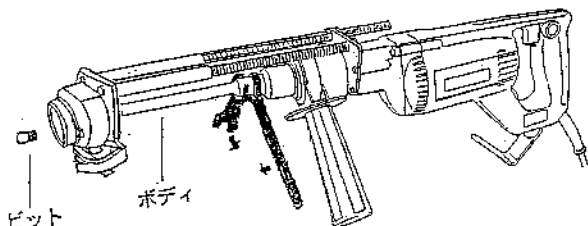
- ・グリップアッセンプリのグリップをゆるめて、ハウジング部分にはめ込み、溝部分にグリップアッセンプリの爪を合わせます。
- ・グリップを固定したい位置に移動し、その位置でグリップを右方向に回して固定します。



(3) ボディおよびビットの取付

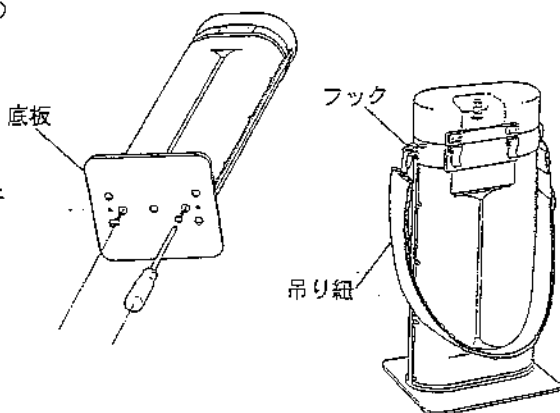
- ①自動切替弁の先端のスパナ掛け部分に付属のスパナ（幅17）を掛け、ネジ部にボディをねじ込みます。更に、もう1つの付属のスパナ（幅13と幅17）をボディの幅（ビット径により13又は17）に合った側をボディに掛け、しっかりと締め上げてください。

- ②ボディの先端に径の合ったビットをねじ込みベンチなどで固定してください。この際刃の部分を痛めないように注意してください。



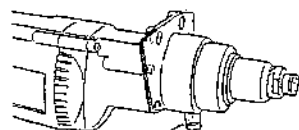
(4) ポンベホルダの組立

- ①ポンベホルダの底板を付属のネジ2本で本体に固定してください。
- ②付属の吊り紐を側面の2カ所のフックにかけてください。

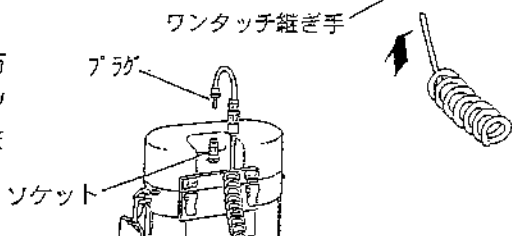


(5) ボンベホルダとドリルの接合

- ①自動切替弁のワンタッチ継ぎ手に、スパイラルチューブを奥まで差し込みます。

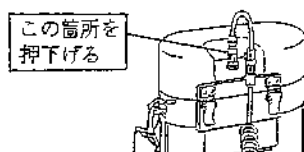


- ②スパイラルチューブのもう片方のプラグを、ボンベホルダのソケットにしっかりと差し込みます。

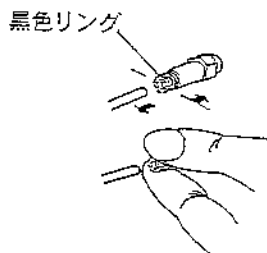


*取り外しは下記の順序で行ってください。

- ①ボンベホルダのソケットの外周リングを押し下げて、スパイラルチューブをはずします。



- ②次に、自動切替弁のワンタッチ継ぎ手の外側の黒色リングを押し込みながら、スパイラルチューブを引き抜きます。



注

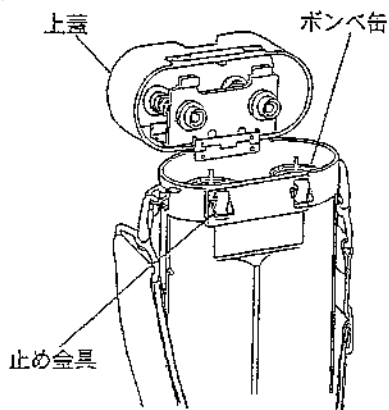
この作業は、スパイラルチューブや自動切替弁内に残っている冷却剤を刃先を押して全部抜いてから行ってください。

(6) ボンベホルダへの冷却剤のセット

注

冷却剤は必ず2本ずつセットしてください。

- ①ボンベホルダの止め金具2個をはずし上蓋をひらきます。
- ②専用の冷却剤ボンベ缶を2本上から入れ込み上蓋を下げても止め金具で固定します。



使用方法

警告

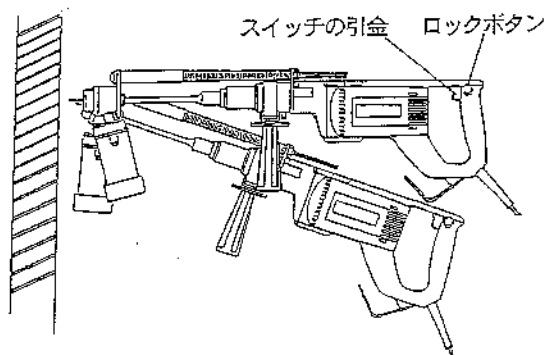
電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・スイッチを入れたままプラグを差し込むと、急に動きだし事故の原因になります。

注

- ・使用する前に、ビットを壁面などに押し当て、冷却剤が噴出することを確認してください。
- ・ポンベホルダが転倒しないよう置場所に注意してください。
高所で作業する場合は、ポンベホルダが落下しないよう一部を固定してください。

- 1). あける穴の深さに合わせて、ストップネジを調節してください。
- 2). コンセントにプラグを差し込んでください。
- 3). スイッチの引金を引いてください。
 - ・引金を引くとスイッチが入り、離すと切れます。
 - ・引金を引いたまま横のロックボタンを押し込むと、引金が固定され引金を離しても連続運転します。
 - ・停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。
- 4). ダイヤモンドビットを、穿孔する部分に押し当ててください。
 - ・ビットを押し当てている間は、冷却剤は自動的に噴出し、離すと止まります。

- ・ダイヤモンドビットを穿孔面に斜めに当てると、位置決めし易くなります。
- ・面にへこみができ横滑りがなくなったら、ドリルを垂直に当てます。

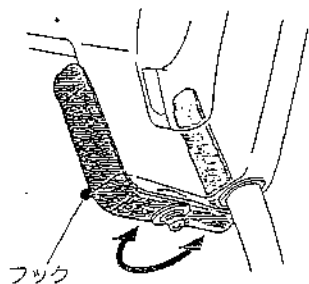


注

- 作業中には冷却剤のかたを常に監視してください。
- ・冷却剤ポンベが空になった状態で穿孔すると、ダイヤモンドビットが発熱し危険です。また、ビットの寿命が著しく短くなります。

5). フックの使い方

- ・フックは腰ベルト、またはパイプなどに掛けることができます。
- ・フックを回転させることにより、左右どちら側でも使うことができます。



保守点検



警告

- 点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- ・プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

*ドリル部の修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの販売店、または弊社にお申し付けください。

1). 日常の清掃・点検

- ・ダストホルダ部は、作業後なるべく早く水などで清掃してください。
 - ・コンクリートの切り屑が付着したまま放置すると固まってしまう、後で清掃しにくくなります。
- ・スプリングのスライド軸の部分は、時々グリスや油を付け軸がスムーズに動くように保守をしてください。

2). 受け板は定期的に交換してください。

- ・受け板の穴部分は、使用するに従って磨滅し穴が大きくなり、この部分から切屑の漏れが多くなります。このような時は新しいものと交換してください。

3). ダストシールは時々交換してください。

- ・ダストシールは、常に壁面に押しつけられているために、使っているうちにシール効果が低下してきます。時々交換してください。

専用別売品

注

・OJ-3 HPを安全に、故障なくご使用いただくために、専用の部品や消耗品をお使いください。

① ビット・ボディ

	ビット	ボディ
特	10.5	10.5
	12.5	12.5
	14.5	14.5
殊	16.0	16.0
	18.0	18.0

② 冷却剤ポンペ 800ml/本 1箱12本入

販売元：株式会社 オリエンテック

〒341-0034 埼玉県三郷市新和1-170

TEL. 048-952-9900 FAX. 048-952-9910

製造元：東邦金属工業 株式会社

〒132-0031 東京都江戸川区松島 4-37-6

TEL 03-3654-8911